

2023年1月1日号掲載



各地の話題

丸森町

守りたいのは昔と変わらぬ美しいあな^{たな}棚^だん田



丸森町^{おおほり}大張地区にある「大張沢尻^{おおほりさわじり}棚田」は、東日本では珍しい石積みの棚田である。平成11年に「日本の棚田百選」に認定され、美しい景観や水田の機能を維持するため、地域では棚田の保全に努めてきた。その功績が評価され、令和4年3月には、令和版棚田百選といわれる「つなぐ棚田遺産」にも認定された。

合計2.2haの棚田は「大張沢尻棚田集落協定」に参加する3名の農家が管理し、化学肥料や農薬を節減した環境にやさしい棚田米を生産している。また、地元の高校生や大学生の農業体験活動の受入れや、県や町などと連携し、フォトコンテストを開催するなど棚田を活かした活動を行っている。

今後の課題は、棚田を管理する次の世代がないこと。代表の大槻^{おおつきこういち}光一さん(74)は交流活動を通して後継者確保や情報発信に意欲的であり、「我々はあと10年がんばれる。それまでに後継者を見つけ、次世代へつなげられるように活動を続けたい」と語る。



大張沢尻棚田集落協定のメンバー

左から佐藤忠吾さん、大槻光一さん、佐藤尚一さん

【記事提供：丸森町農業委員会】